



ドイツにみる多様性の国づくり

1989年11月9日にベルリンの壁が崩壊した。壁を越えて人々は抱擁し、歓喜と高揚感がひろがった。西ベルリンに隣接するポツダムとの間のハーフェル川に架かるグリニッケ橋もベルリンの壁であった。通行が許されない橋は兩岸を隔てる壁であった。ほどなく東西ドイツは統合され、行き来は自由となりドイツは新たな融合の(共に生きる)道を歩むこととなった。東西の社会・経済体制を越えて「共に生きるドイツ人の国づくり」。多難な仕事であったが、それなりに着実に成果を上げてきた。同時に、長年にわたって移民・難民も寛容に受け入れて「共に生きる多様性の国づくり」の難行が加わった。

四半世紀をすでに越えた2017年の今年。「共に生きる多様性の国づくり」を大きく揺るがす兆しが出ている。9月24日に連邦政府の総選挙があった。「共に生きる多様性の国づくり」を率先して進めてきたメルケル首相が率いる与党CDUと、これまで連立を組んできたSPDの二大政党。両党はかろうじて首位と二位を勝ち得たものの大きく得票率を減らした。代わって「ドイツのための選択肢」(Alternative für Deutschland, AfD)が第3党の地位を獲得した。AfDが連邦議会(国政)に議席を持つのは今回が初めてである。EU, ユーロからの離脱とともに、イスラム教徒や難民に対して排斥を進めようとする極端な政策を掲げている。ベルリンの壁はなくなって久しいが、旧東ベルリンの側や他の旧東ドイツ側の地域でAfDがより多くの得票をしている傾向があるようである。「心の中の壁」はそう簡単には消えず、新たな異邦人へのまなざしに複雑な投影をしているのかもしれない。

「ドイツのための選択肢」(Alternative für Deutschland)という党名のスローガンに込められたトリックに着目しよう。「ドイツ(で共に生きる人々)のための、もう一つの選択肢」があるとすればそれは「ともに生きる人を排除すること」とそそのかしている。つまりAfDは「共に生きる選択肢はない」党ということだ。期を一にして「心の中に潜むベルリンの壁」が社会の隅々で少しずつ数を増して頭をもたげている。四半世紀前の壁を破る歓喜と高揚感を記憶する人達が次第に減っていることも危うさに寄与している。共感の衰退と無関心の増大が壁を潜みから立ち上げる。

だが悲観的なことばかりではない。ベルリン近郊に住んでの実感は、「共に生きる多様性の国づくり」がもはや後戻りできない現実そのものだという事である。軌轢はあってもそれが健全な現実感とバランス感覚を共に住む人たちの間に着実に育ててきているようにも思える。地域ごとに詳細に検討するとベルリンの総選挙の結果もそれを裏付けている。

ドイツや欧州では宗教や民族の多様性などが国づくりで常に問題になる。日本はその点で確かに異なる。逆に自然災害にたえず見舞われる点で日本は特徴的でもある。大きな自然災害に見舞われるたびに「共に生きていくこと」の大切さを思い起こす。それを学習して次につないでいく努力は十分にできているのであろうか? 福島原発事故を伴った東日本大震災は、多くの広域避難・超長期避難者を生んだ。共感の衰退と無関心の増大を克服して、「共に生きる多様性の国づくり」を進める知恵と経験を私たちは十分に持ち得ていない。地球の向こう側の、文化も社会も異なる他人事としてではなく、共に学びあう姿勢が今こそ必要と思う。(岡田憲夫)

日本災害復興学会 会員募集中!!

入会をご希望される方は、日本災害復興学会のHP(<http://www.f-gakkai.net/>)より「入会申込書」をダウンロードのうえ、下記の事務局まで郵送にてお申込ください。

(1) 申込書送付先

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
関西学院大学災害復興制度研究所内
日本災害復興学会事務局
TEL: 0798-54-6996

(2) 入会金 3,000円

(3) 学会費(年額)

1) 正会員 7,000円 3) 購読会員 6,000円
2) 学生会員 3,000円 4) 賛助会員 一口: 50,000円

■西宮上ヶ原キャンパス

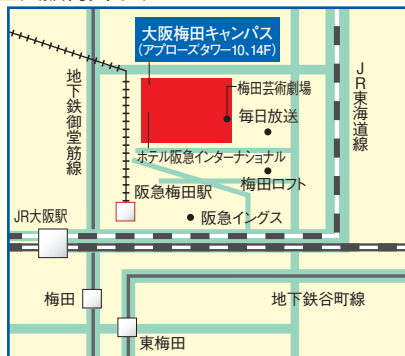
■西宮聖和キャンパス



■神戸三田キャンパス



■大阪梅田キャンパス



阪急梅田駅茶屋町口から北へ徒歩5分

〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19
アプロースタワー 14階
TEL: 06-6485-5611

■関西学院東京丸の内キャンパス



JR東京駅八重洲北口から徒歩1分

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー 10階
TEL: 03-5222-5678



関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY
災害復興制度研究所

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
TEL: 0798-54-6996 FAX: 0798-54-6997
<http://www.kwansei.ac.jp>
URL: <http://fukkou.net/> E-mail: kgu_fukko2005@fukkou.net